

1. お達者プランの策定状況について

(1) 在宅介護実態調査について



加賀市市民健康部介護福祉課

令和5年10月26日

在宅介護実態調査 集計結果

2023/09/13

石川県加賀市

発送数：1,969件

回収数：803件

回収率：40.8%

◆ 5つの検討テーマ

- 在宅介護実態調査は、主に以下の5つの検討テーマに基づいた集計分析を行っています。

【要介護者の在宅生活の継続／介護者の就労継続】

基本的な視点	検討テーマ	集計・分析の狙い
要介護者の在宅生活の継続	1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「A票-問10_施設等の検討状況」の「入所・入居は検討していない」の割合と、「B票-問5_介護者が不安になる介護」を指標としながら、サービス利用のパターンとの関係进行分析し、在宅限界点の向上を図るために必要となる取組について検討します。
介護者の就労継続	2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「B票-問1_介護者の就労状況」と「B票-問4_介護者の就労継続の可否に係る意識」を指標としながら、介護状況やサービス利用のパターンとの関係进行分析し、介護者の就労継続のために必要となる取組について検討します。

【支援・サービスの提供体制の検討】

検討テーマ	集計・分析の狙い
3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	○ 主に「A票-問9_今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、世帯類型別・要介護度別のニーズを集計・分析し、整備が必要となる地域資源を検討します。
4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「A票-問1_世帯類型」について、世帯類型別のサービス利用のパターンを集計・分析し、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制について検討します。
5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「A票-問12_訪問診療の利用の有無」について、訪問診療の利用の有無別のサービス利用のパターンを集計・分析し、医療ニーズのある在宅療養者を支えるための支援・サービスの提供体制について検討します。

◆用語の定義

【サービス利用の分析に用いた用語の定義】

用語	定義
未利用	・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計
訪問系	・訪問介護・訪問型サービス、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計
通所系	・通所介護・通所型サービス、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計
短期系	・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計
その他	小規模多機能 ・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計
	看護多機能 ・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計
	定期巡回 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計

【サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義】

用語	定義
未利用	・上表に同じ
訪問系のみ	・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む 組み合わせ	・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」+「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」+「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」+「通所系」+「短期系」、「 小規模多機能 」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計しています。

【施設等の検討の状況に係る用語の定義】

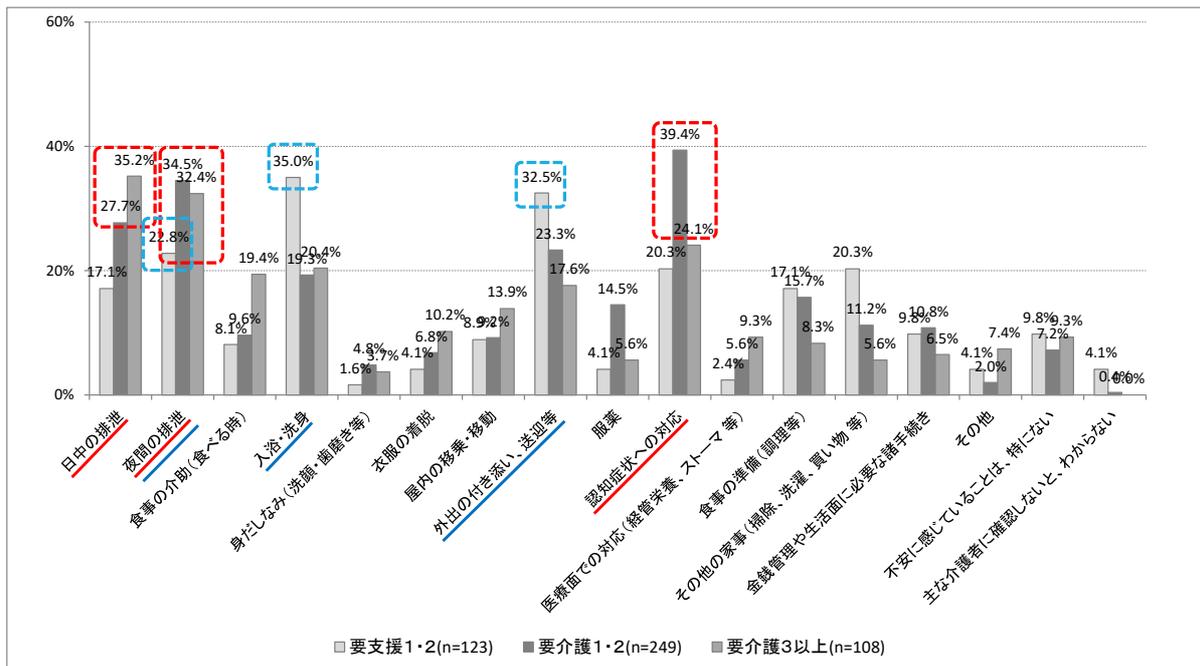
- 本集計・分析では、施設等検討の状況について、「入所・入居は検討していない（検討していない）」、「入所・入居を検討している（検討中）」、「すでに入所・入居申し込みをしている（申請済み）」の3つに分類して集計しています。
- なお、ここでの「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、**特定施設（有料老人ホーム等）**、**グループホーム**、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指すものであり、**介護保険施設には限定していません。**

1 在宅限界点の向上のための 支援・サービスの提供体制の検討

検討テーマ1：在宅限界点の向上のための支援・サービス提供体制の検討

要介護度別・介護者が不安を感じる介護

図表 要介護度別・介護者が不安を感じる介護

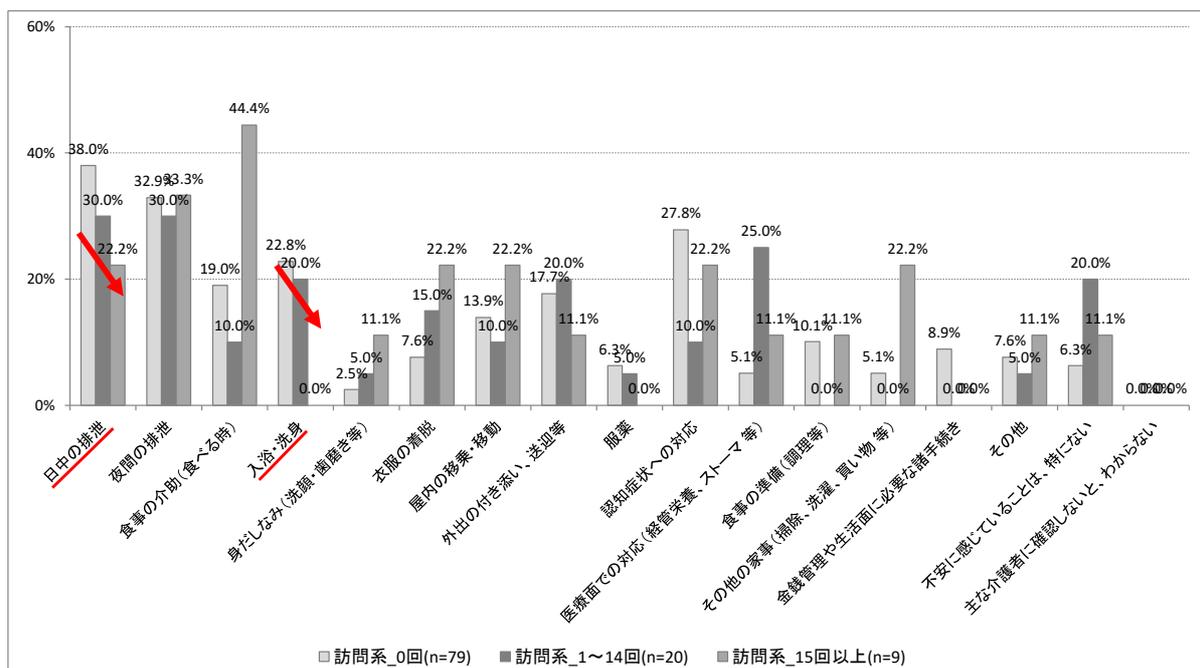


- 要介護1以上では「認知症状への対応」「夜間の排泄」「日中の排泄」について、不安が大きい。
- 要支援1、2では「入浴・洗身」「外出付き添い、送迎等」「夜間の排泄」について、不安が大きい。
- 在宅生活の継続が困難と判断する重要なポイントとして「認知症状への対応」「排泄への対応」が挙げられる。

検討テーマ1：在宅限界点の向上のための支援・サービス提供体制の検討

サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）

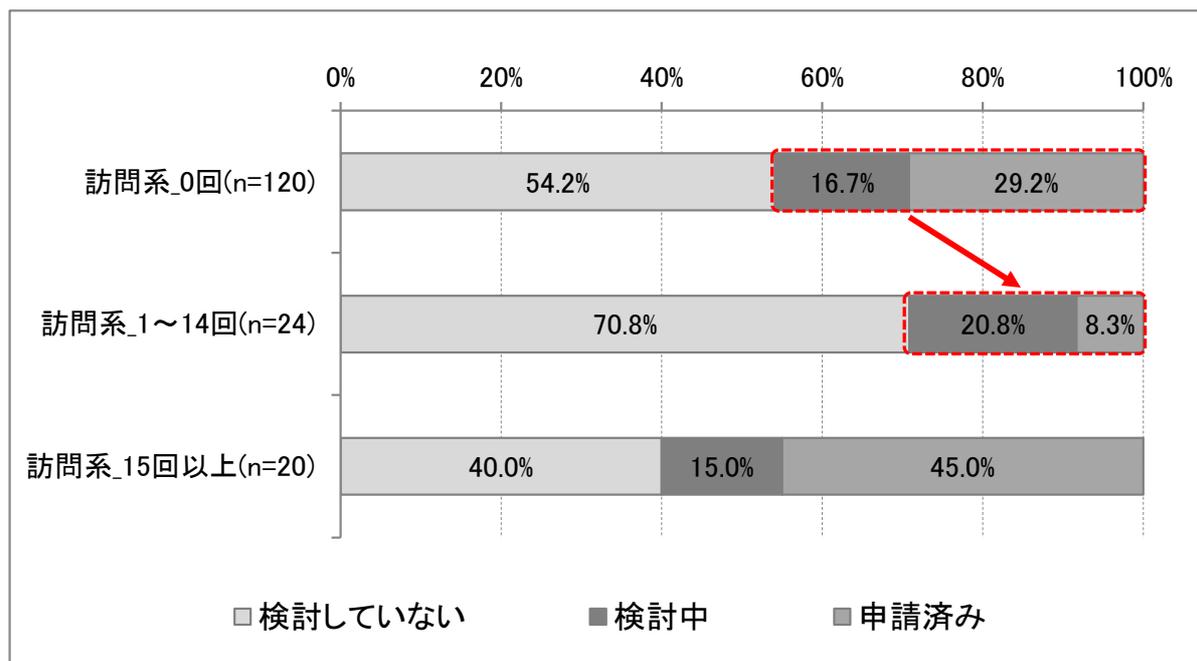
図表 サービス利用回数と介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



- 訪問系サービスの利用回数の増加とともに「日中の排泄」「入浴・洗身」の不安が軽減する傾向が見られる。

施設等検討の状況と訪問系サービスの利用回数（要介護3以上）

図表 施設等検討の状況と訪問系サービスの利用回数(要介護3以上)



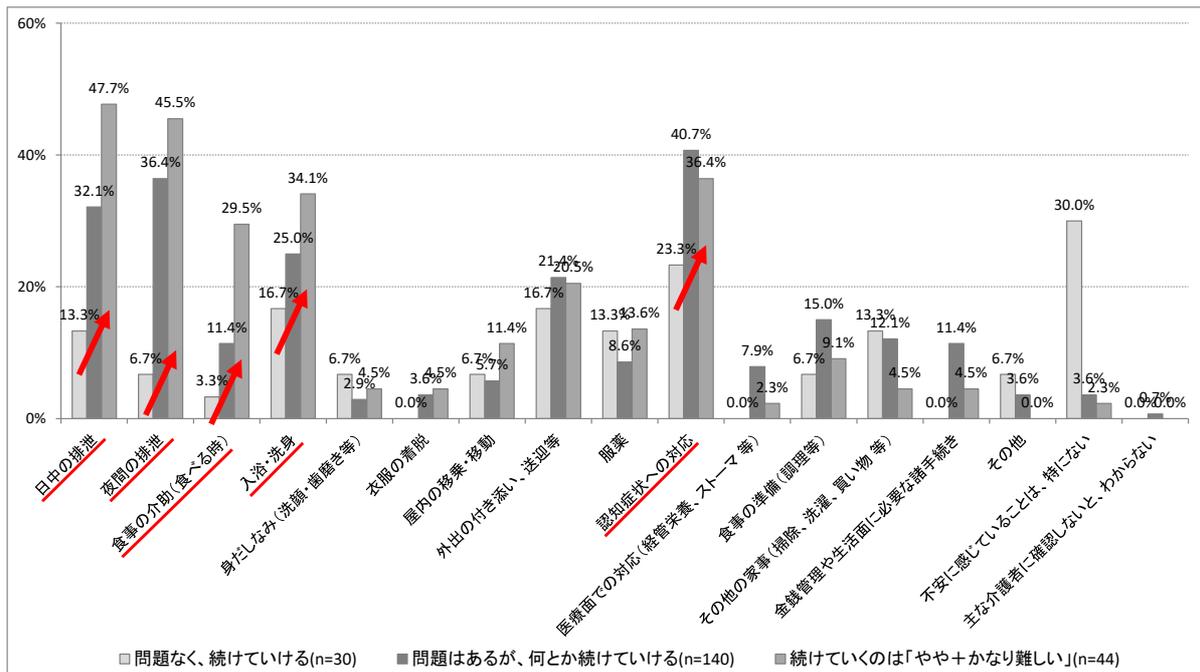
○要介護度が重度化しても、施設等ではなく「在宅で生活を継続できる」と考えている人は、訪問系サービスを利用している割合が高いと考えられる。

2 仕事と介護の両立に向けた 支援・サービスの提供体制の検討

検討テーマ2：仕事と介護の両立に向けた支援・サービス提供体制の検討

就労継続見込み別・介護者が不安を感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

図表 就労継続見込み別・介護者が不安を感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

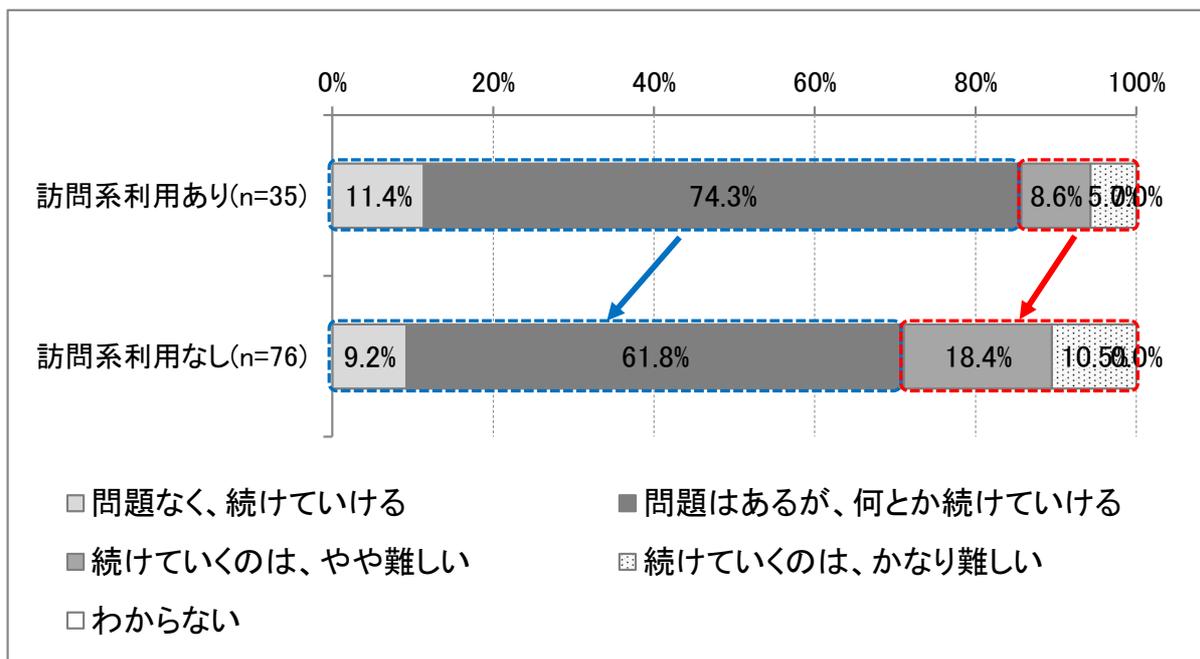


- 在宅生活の継続に向け、就労継続が困難と考える介護者が不安を感じる介護は「日中の排泄」「夜間の排泄」「認知症状への対応」「入浴・洗身」「食事の介助」が高い。
- 在宅生活を継続しながらの就労継続のポイントとして、「排泄」「認知症状への対応」が挙げられる。また、**清潔保持**や**食事摂取**に対する支援も求められている。

検討テーマ2：仕事と介護の両立に向けた支援・サービス提供体制の検討

サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）

図表 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）



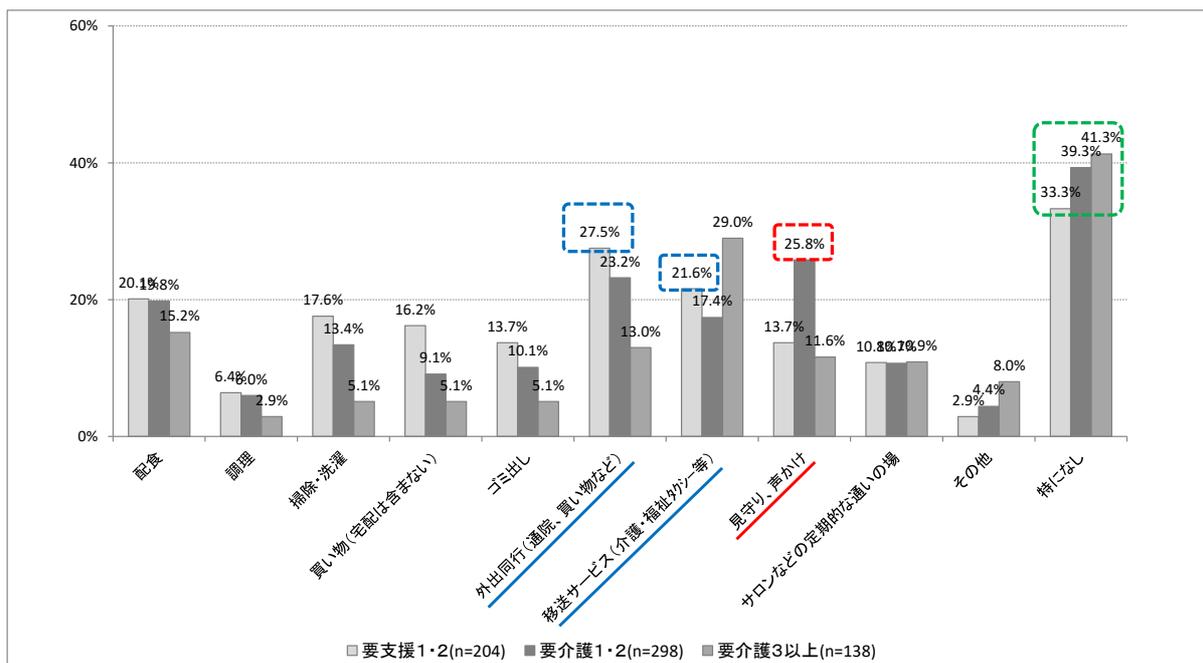
- 「今後も働きながら介護を続けていける」と考えている人は、訪問系サービスを利用している割合が高い。

3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

検討テーマ3：保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

図表 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

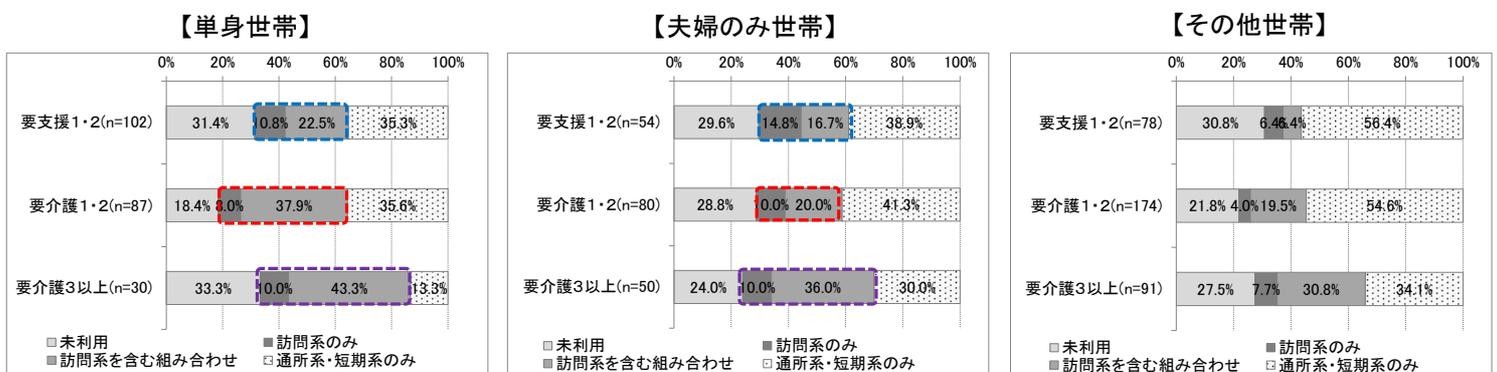


- 「特になし」と回答した人の割合が高い。
- 要支援1、2では「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高い。
- 要介護1、2では「見守り、声かけ」の割合が高い。

4 将来の世帯類型の変化に応じた 支援・サービスの提供体制の検討

検討テーマ4 : 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（世帯類型別）

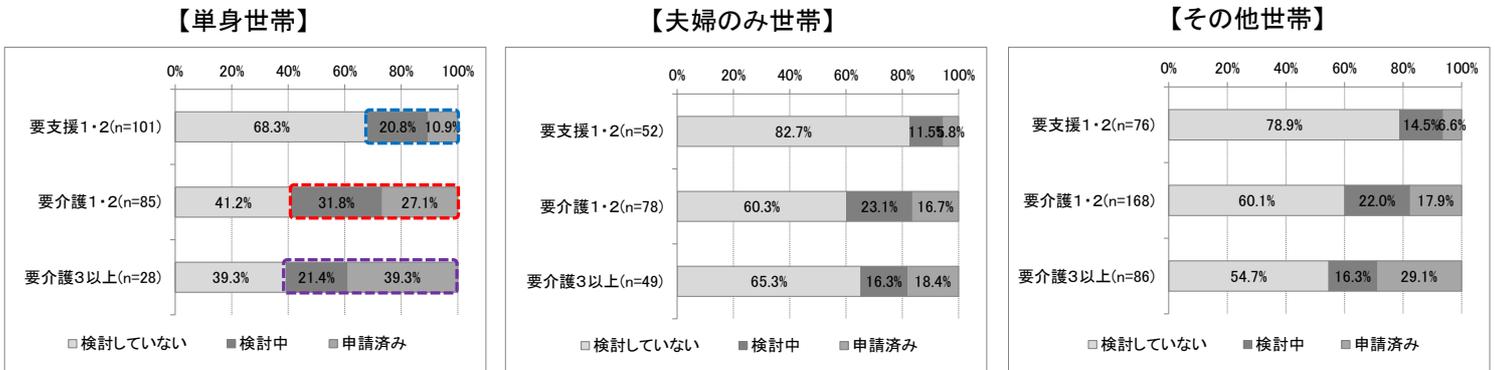
図表 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（世帯類型別）



○「単身世帯」「夫婦のみ世帯」において訪問系サービスの利用の割合が高い。

要介護度別・施設等検討の状況（世帯類型別）

図表 要介護度別・施設等検討の状況（世帯類型別）

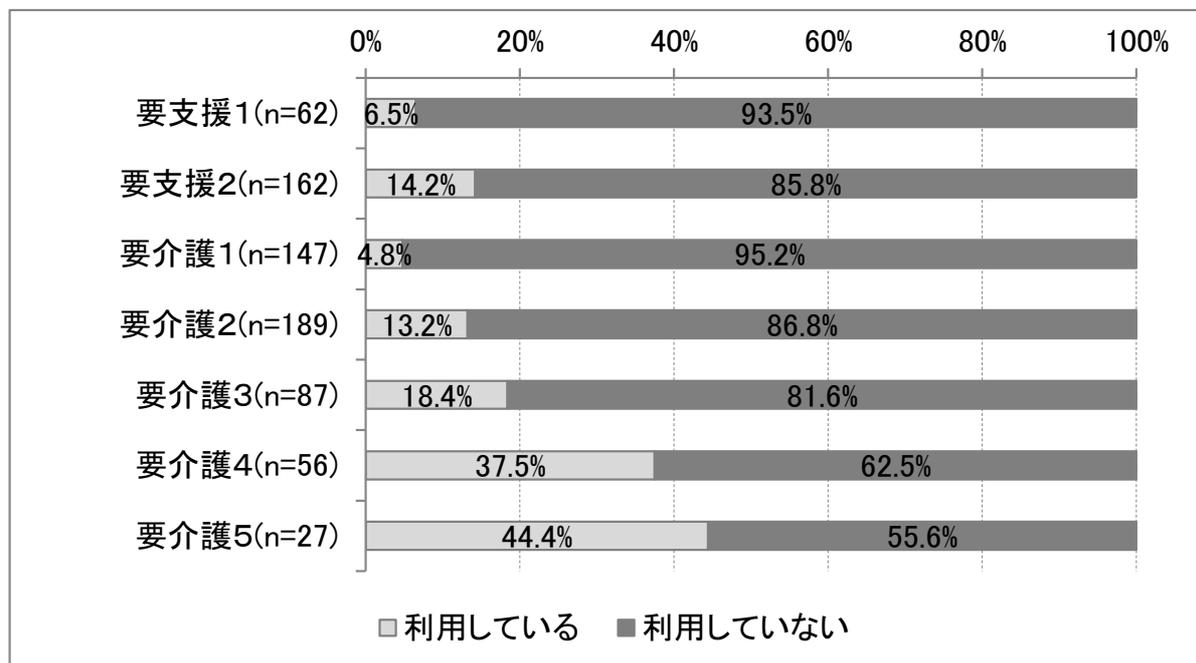


- 「単身世帯」において施設等入所を「検討中」「申請済み」の割合が高い。
- 「夫婦のみ世帯」「その他世帯」において大きな差は見られない。

5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

要介護度別・訪問診療の利用割合

図表 要介護度別・訪問診療の利用割合



○要介護度が上がるにつれて、訪問診療の利用割合が高い。

まとめ

- 検討テーマ1 「在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制検討」については、介護者は「認知症状への対応」「日中の排泄」に対し介護負担を感じているが、訪問系サービスの利用が増えることで、その不安が減っている。
- 検討テーマ2 「仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討」については、就労継続が困難と考える介護は「排泄」に対してであり、「排泄」に対する支援が充実すれば、介護者は就労を継続できる。

まとめ

- テーマ3「保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討」、テーマ4「将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討」、テーマ5「医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討」については、訪問系サービスを含む組み合わせと訪問診療の利用によって、在宅生活が継続できている。